

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 石垣食品株式会社

上場取引所 東

コード番号 2901 URL <http://www.ishigakifoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石垣 裕義

問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課 課長

(氏名) 小西 一幸

TEL 03-3263-4444

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	254	△15.6	△36	—	△35	—	△36	—
27年3月期第2四半期	301	△16.1	△27	—	△26	—	△27	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △35百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △30百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
28年3月期第2四半期	△10.63	—	
27年3月期第2四半期	△7.99	—	

(参考) 持分法投資損益 28年3月期第2四半期 — 百万円 27年3月期第2四半期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
28年3月期第2四半期	395		230		58.2		67.97	
27年3月期	374		265		70.8		78.35	

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 230百万円 27年3月期 265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	502	△3.3	△54	—	△54	—	△55	—	△16.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、3ページ【2. サマリー情報(その他)に関する事項】(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	3,390,000 株	27年3月期	3,390,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,779 株	27年3月期	1,779 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	3,388,221 株	27年3月期2Q	3,388,221 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。  
なお、この四半期決算短信は、同レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。  
実際の業績は今後様々な要因によって当社の見込みと異なるかもしれないことをご承知おきください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高254百万円(前年同四半期比15.6%減)、営業損失36百万円(前年同四半期は営業損失27百万円)、経常損失35百万円(前年同四半期は経常損失26百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失36百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失27百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 飲料事業

主力の麦茶について、最盛期である夏季において、記録的な猛暑日が続いたお盆前だけは好調な出荷が続いたものの、全体的には他社競合商品の厳しい価格競争に巻き込まれる形で売上高が減少、特にお盆明け後に急速に気温が低下し、涼しい日が続いたことから、低調であった前年同四半期を更に下回る減収となりました。

健康茶類については、ごぼう茶は定番商品としての地位を確保したことから堅調な売上高を確保しましたが、長期的な減収傾向が続く烏龍茶、杜仲茶が下げ止まらず、麦茶の不振を補うには至りませんでした。

これら売上高の減少が、工場稼働率を低下させることとなりましたが、製造効率の改善を行うなどした結果、製造原価の低減に繋がり、営業利益は若干改善いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高132百万円(前年同四半期比9.3%減)、営業利益16百万円(前年同四半期比9.6%増)となりました。

#### ② 珍味事業

ビーフジャーキーは、円安や主要原料である牛肉価格の世界的な高騰から赤字が続いており、当連結会計期間においては7月に商品値上げを行うことで業績の改善を見込んでおりましたが、値上げ商品への切替えによる一時的な出荷抑制期間が想定より長引いたこと、値上げにより商品の販売先減少があったことから減収となりました。

損益面においても、値上げ商品への切替えが遅れていることが採算を悪化させていることに加え、前述の減収による工場稼働率の低下により損益が大幅に悪化することとなりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高118百万円(前年同四半期比21.8%減)、営業損失12百万円(前年同四半期は営業損失3百万円)となりました。

#### ③ その他

その他事業においては、業務用ナルトは前年同四半期並みの売上高であったものの、だしのものが減収で、その他事業合計では減収となりました。損益面においては、委託加工事業であることから、堅調に利益を計上しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2百万円(前年同四半期比7.5%減)、営業利益0百万円(前年同四半期比25.7%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、主に受取手形及び売掛金の増加及び長期借入金の増加等により、総資産は395百万円(前連結会計年度末は374百万円)、負債は165百万円(前連結会計年度末は109百万円)となりました。純資産は主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により230百万円(前連結会計年度末は265百万円)となり、自己資本比率は58.2%(前連結会計年度末は70.8%)となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では平成27年10月21日発表の当社「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の内容から修正はございません。業績に影響を与える事象が明らかになり次第、適宜お知らせいたします。

なお上記の予想は、当社が現時点で把握可能な情報から判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績は今後様々な要因によって当社の見込みと異なるかもしれないことをご承知おきください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期において、重要な子会社の異動はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループとしては、当該状況を早期に改善・解消すべく対処を行っており、当該状況に陥った要因は主に為替の急激な円安及び牛肉価格の高騰に伴うビーフジャーキーの採算悪化であることから、現状の為替及び牛肉価格に対応した商品価格の改定、新商品投入による工場稼働率向上、中国生産子会社が輸入許可を得ることで貿易商社を通さず原料牛肉を調達できることによるコストダウンを図るなど、事業採算の改善に継続的に努めております。

当社グループとしては、これらの対処を的確に行うことにより、当該状況が改善される見込みであること、及び今後の運用資金も十分に確保できていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業の前提に関する注記は掲載しておりません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,714	34,081
受取手形及び売掛金	77,610	93,238
商品及び製品	55,468	63,256
原材料及び貯蔵品	43,226	30,602
その他	4,461	17,391
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	214,480	238,570
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,919	47,200
機械装置及び運搬具(純額)	16,262	14,786
土地	47,780	47,780
リース資産(純額)	1,708	1,431
建設仮勘定	5,862	5,967
その他(純額)	1,978	1,718
有形固定資産合計	122,512	118,884
無形固定資産		
借地権	19,258	19,349
リース資産	6,057	5,075
その他	1,697	1,632
無形固定資産合計	27,012	26,056
投資その他の資産		
投資有価証券	4,113	4,364
その他	6,879	7,950
投資その他の資産合計	10,992	12,314
固定資産合計	160,518	157,255
資産合計	374,998	395,826

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,218	46,883
短期借入金	15,000	-
1年内返済予定の長期借入金	-	11,424
リース債務	2,639	2,675
未払法人税等	1,034	906
賞与引当金	2,294	1,733
未払金	18,777	25,261
その他	8,272	8,738
流動負債合計	103,236	97,622
固定負債		
長期借入金	-	62,864
リース債務	5,969	4,623
繰延税金負債	313	394
固定負債合計	6,283	67,881
負債合計	109,519	165,504
純資産の部		
株主資本		
資本金	300,000	300,000
資本剰余金	53,293	53,293
利益剰余金	△102,980	△138,997
自己株式	△782	△782
株主資本合計	249,529	213,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	655	825
為替換算調整勘定	15,293	15,983
その他の包括利益累計額合計	15,949	16,808
純資産合計	265,479	230,321
負債純資産合計	374,998	395,826

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	301,583	254,630
売上原価	198,189	165,046
売上総利益	103,393	89,583
販売費及び一般管理費	130,395	126,150
営業損失(△)	△27,001	△36,566
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	32	32
為替差益	334	1,430
雑収入	77	-
営業外収益合計	451	1,471
営業外費用		
支払利息	183	631
雑損失	60	0
営業外費用合計	243	632
経常損失(△)	△26,793	△35,726
税金等調整前四半期純損失(△)	△26,793	△35,726
法人税、住民税及び事業税	290	290
法人税等合計	290	290
四半期純損失(△)	△27,083	△36,016
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,083	△36,016



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純損失(△)	△27,083	△36,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	207	169
為替換算調整勘定	△3,379	689
その他の包括利益合計	△3,171	859
四半期包括利益	△30,255	△35,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,255	△35,157
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。